

【年表を使った問題】(難易度：中)

次のインドや東南アジアにおける宗教に関連した年表を見て、後の問に答えなさい。

年 代	出 来 事
前 1200~1000	・アーリヤ人の神々への讃歌集『リグ=ヴェーダ』が作られる。
前 10 世紀頃	・アーリヤ人の原始宗教をもとにバラモン教が成立する。
前 6 世紀頃	・ウパニシャッド(奥義書)がつくられる。
前 6 ~ 5 世紀頃	・ガウタマ=シッダールタにより仏教が創始される。 ・ヴァルダマナーによりジャイナ教が創始される。
前 3 世紀	・(1)朝の(A)アショーカ王が仏教に帰依して、第3回仏典結集を行う。
前 250 頃	・アショーカ王の王子マヒンダが、 あ 島に仏教を布教する。
紀元前後頃	・バラモン教に民間信仰や仏教などが吸収され、ヒンドゥー教が成立する。 ・仏像製作を中心とする い 美術が盛んになる。
2 世紀	・(2)朝の(B)カニシカ王が仏教を保護して、第4回仏典結集を行う。
2 ~ 3 世紀頃	・ナーガールジュナ(竜樹)により、菩薩信仰などの大乘仏教の理論が確立される。
4 ~ 5 世紀	・(3)朝の(C)チャンドラグプタ 2 世の時、東晋の僧の[α]法顕がインドに来て、経典を中国に持ち帰る。 ・この頃ヒンドゥー教が定着する。
5 世紀	・ う 僧院が建てられ、仏教教義の研究の中心となる。
5 ~ 6 世紀	・ え 石窟寺院で(3)様式の影響を受けた仏像や絵画が製作される。
7 世紀前半	・(D)ハルシャ王の時、唐僧の[β]玄奘がインドに来て、 う 僧院で学び、中国に仏典を持ち帰る。
7 世紀頃	・ヒンドゥー教において、最高神への絶対的帰依を説くバクティ運動が南インドから始まる。
7 世紀末	・唐僧の[γ]義浄がインドからの帰路、 お 島を中心とするシュリーヴィジャヤ 王国に滞在し、大乘仏教の隆盛を記す。
8 世紀	・イスラーム教徒がインダス川流域まで攻め込んでくる。
8 ~ 9 世紀	・ジャワ島に成立した(4)朝により、大乘仏教の寺院としてボロブドゥールが建立される。
12 世紀前半	・カンボジア(真臘)の(5)朝のスールヤヴァルマン 2 世の時、ヒンドゥー教寺院として(5)=ワットが建立される。

問 1 年表中の(1)~(5)にあてはまる最も適切な語句を選びなさい。

- ア グプタ イ マウリヤ ウ クシャーナ エ アンコール
オ シャイレンドラ カ サータヴァーハナ

問 2 年表中の**あ**~**お**にあてはまる最も適切な地名を選びなさい。

- ア ルソン イ セイロン ウ スマトラ エ ガンダーラ
オ アジャンター カ ナーランダー

問 3 年表中の下線部_____ (A)~(D)のそれぞれの君主に、最も関係が深い文章を選びなさい。

- ア 宮廷詩人カーリダーサが『シャクンタラー』を残した。
イ ダルマ(法)による統治を理想とし、各地に石柱碑・磨崖碑を建てた。
ウ 都をカナウジに定め、自らも詩人として活躍するなど、学芸を保護した。
エ 都をパータリプトラに定め、パンジャーブ地方にいたギリシア人勢力を一掃した。
オ 都をプルシャプラに定め、中央アジアからガンジス川中流域までの地を支配した。

問 4 年表中の下線部_____ [α]~[γ]のそれぞれの中国僧に、最も関係が深い語句をア~オから、最も関係が深い文章を①~④から選びなさい。

ア『仏国記』

イ『大唐西域記』

ウ『三大陸周遊記』

エ『南海寄帰内法伝』

オ『世界の記述(東方見聞録)』

- ① インドへの行程において、行き帰りとも陸路を利用した。
- ② インドへの行程において、行き帰りとも海路を利用した。
- ③ インドへの行程において、行きは陸路を、帰りは海路を利用した。
- ④ インドへの行程において、行きは海路を、帰りは陸路を利用した。

【解答】

1 1…イ 2…ウ 3…ア 4…オ 5…エ

2 **あ**…イ **い**…エ **う**…カ **え**…オ **お**…ウ

3 A…イ B…オ C…ア D…ウ

4 **α**…ア・③ **β**…イ・① **γ**…エ・②

各1点×20=20点